

平成28年度にかほ市国民健康保険の状況について

問合先 市民課国保年金班
☎ 32・3032

国民健康保険加入者の健康状況と医療費について

平成29年3月末のにかほ市国保加入者数は6,368人で、人口総数の25%を占めています。このうち65歳から74歳までの加入者は3,209人で、国保加入者の50%を占めています。

国保加入者の健康状況を分析することによって、にかほ市の健康課題や傾向を見ることが出来ます。増え続ける医療費について、加入者の皆さんができることはあるのか、国保保険者としてにかほ市ができることはどんなことか探っていきます。



にかほ市と全県の医療費等の推移

にかほ市				
年度	一人当りの医療費	伸び率	加入者数（年度平均）	伸び率
H 25	379,703円	—	7,384人	—
H 26	386,514円	1.02	7,222人	0.98
H 27	387,096円	1.00	6,878人	0.95
H 28	386,296円	1.00	6,564人	0.95

全県				
年度	一人当りの医療費	伸び率	加入者数（年度平均）	伸び率
H 25	351,745円	—	271,056人	—
H 26	362,072円	1.03	271,663人	1.00
H 27	379,137円	1.05	259,323人	0.95
H 28	385,682円	1.02	235,413人	0.91

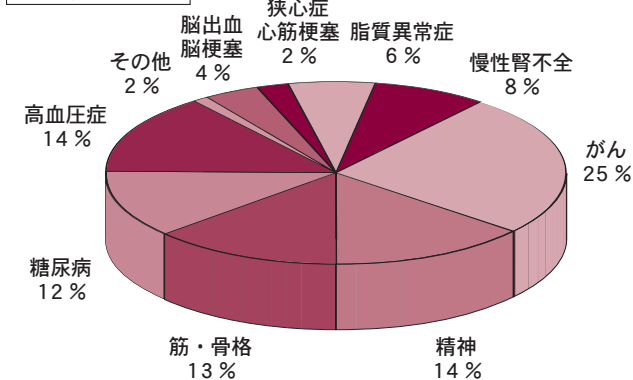
医療費の分析

平成28年度中の医療費における「高血圧症」「糖尿病」「脂質異常症」「慢性腎不全」の割合が全体の40%を占めています。この割合は県の割合を大きく上回っています。入院医療費で高いのは「統合失調症」「慢性腎不全（透析あり）」「うつ病」「骨折」で、外来では「高血圧症」「糖尿病」「脂質異常症」「慢性腎不全（透析あり）」となっています。

一人当たり医療費は年々上がり続けていましたが、28年度では薬価の改定などがあり、若干減となっていますが、これは全国的な傾向です。一人当たり医科医療費の入院費用は県平均を下回っていますが、外来医療費は上回っています。千人当たり何人が医療を受診するかを表す受診率は県平均を大きく上回り、県内2位の高さとなっています。一方歯科については、一人当たり医療費、受診率とも県平均を下回っています。

特定検診と人間ドックを合わせた受診率は28年度は44・2%

医療費の分析

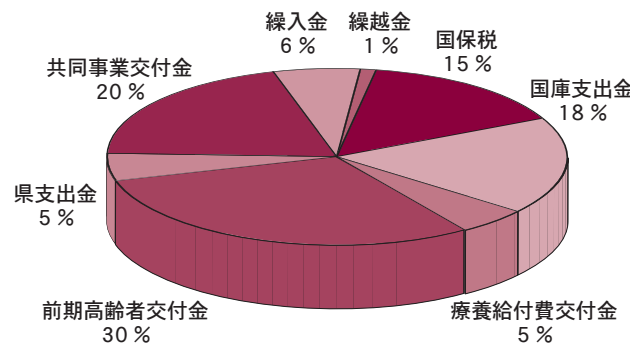


で県平均をやや上回りますが、目標受診率の60%にはまだ開きがあります。健診受診者の医療費は、未受診者の医療費より低い傾向であることから、受診率を上げることも医療費削減につながる大事なことが分かっています。

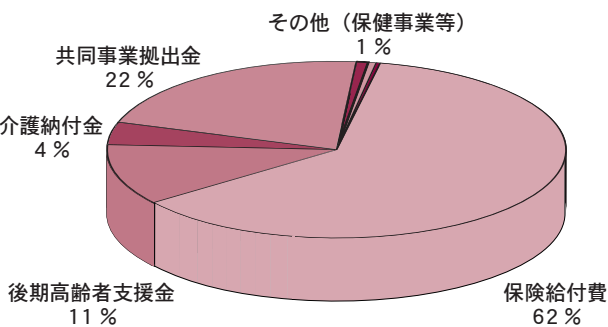
また、医療費分析や健診結果から浮かび上がるにかほ市国保加入者の姿は、男女ともメタボ該当者が県や国の割合より多く、生活習慣病保有者が多いという事実です。

平成28年度にかほ市国民健康保険の状況について

歳入 34 億 3 千万円



歳出 33 億 9 千 9 百万円



平成28年度医療費の決算状況
平成28年度の国保事業特別会計の決算では、単年度25・943千円の赤字となりました。歳出では保険給付費は被保険者の減少や薬価改定の影響で前年度より103・000千円程の減となりました。しかし、交付金等が被保険者数の減少により減額したことや過年度精算による影響、前年度繰越額の減少などから歳入の減が歳出の減を上回ったことにより単年度赤字となり、不足する額を財政調整基金の取り崩しにより調整しました。これにより財政調整基金の残額は117・000千円となりました。

りました。国保の税率については据え置き状態が続いています。が、赤字決算が続く4億円ほどあった繰越金も底を尽き、財政調整基金も取り崩さなければならぬ状況となっています。28年度の医療分について、にかほ市国保では一人当たり調定額（集めようとする金額）としては42,560円で、全県一低い金額となっています。一人当たり医療費としては386,296円で県平均を600円上回っています。集める金額が使う金額を下回れば、当然赤字になります。にかほ市国保事業会計はこの

保険者努力支援について

状態が続いたことよって4億円もの繰越金がこの穴埋めに使われました。あらためて保険給付に対する適正な保険税率の検討が喫緊の課題ですが、30年度から国保制度自体が大きく変わるため、その影響も踏まえて検討していかなければなりません。

国保制度改正に伴い、保険者（国保では市町村）が果たす役割も変わっていきます。健診や各種医療適正化に関する事業について目標を立て、取組や達成度について交付金算定へ反映させる仕組みが導入されます。ジェネリック医薬品導入率や特定健診やがん検診の受診率は、被保険者の皆さんが、自分の健康に関心を持たなければ、決して改善になりません。

皆さんの取り組みが、保険料の増減に結びつくようになります。自分の体の健康に関心をもつて、質の高い生活へと転換を図ることが、財政にもやさしくなるのです。国保事業への参加をお願いします。そして今年度も特定健診をまだ受診していない方はぜひ受診をお願いします。

ジェネリック医薬品を活用しましょう

皆さんの家計への負担を軽減するだけでなく、保険給付費の削減効果も非常に高いです。保険証更新の際に同封した、「にかほっぺんシール」を保険証に貼ってジェネリック医薬品使用の意思表示をしましょう。

印字の文字に重ならないように貼りましょう



シールの使用例

